

南山大学人類学博物館

# 年 報

2023 年度

南山大学人類学博物館

## 巻頭言

2024 年度が始まった。この年度の移り変わりの中で、人類学博物館にとってはいくつかの画期的な出来事があった。一つは、専任の学芸員として高柳ふみ氏が着任されたことである。これまでは実際の運営を 2 名の非常勤学芸員が担ってきたが、その立場で博物館を運営するということはいかに大きな負担をかけていたものか、と思う。高柳氏の着任によって、その軽減が図れると同時に、人類学博物館が博物館としての本来のあるべき形となり、博物館としての機能を十全に図れる第一歩となったものとして、今後の活動に期待していただきたい。

もう一つは、この 4 月から、これまで未整理だった収蔵資料の整理作業に着手したことである。人類学博物館には、恥ずかしい話ではあるが、考古資料・民族誌資料に未整理・未報告の資料が極めて多い。これらはいずれも学術的価値が高いものでありながら、利用の便が図られていないという意味で、博物館の抱える負債ともいえる。そうした状況を変えるために報告書の刊行を前提とした資料整理を始めたのである。

現在、蒲郡市の形原遺跡（佃貝塚）の資料整理を進めており、2026 年の人類学博物館紀要での公表を目指している。そして、この作業にあたり、蒲郡市との連携も欠かすことができないのは自明のことであろう。ここに自治体と連携した研究とそれを活かした様々な活動の可能性が芽生える。つまり、博物館で行う資料整理とは、単に報告書を出すということにとどまらず、博物館での活動をサポートするものであるべきだと思ふのである。

また、昨年からはじめた活動に「人類学博物館ワークショップ」がある。これは、人類学博物館において「さわる展示」を実現していながら、それをどのように展開していくのかという展望を得るために、様々な人たちの知恵と力を借りたい、という趣旨で始めたものであり、ただの「学習」プログラムではない。そして「様々な」という意味は、そこに博物館ユーザー（非ユーザーも含む）、学芸員、視覚障がい者、晴眼者が混在しながら、お題（課題ではない）をこなしていくということである。そこから新たな方向性を見出せるようにしていきたいのである。

以上のように、2024 年は人類学博物館が成長できる条件が整いつつある年である。

これからの人類学博物館の活動に注目していただきたい。

2024 年 6 月  
南山大学人類学博物館

## 目次

1. 2023年度の人類学博物館の活動	
(1) 教育普及活動	
①展示	1
②博物館講座	1
③協力	2
④博物館実習（他大学より受入）	2
⑤総合学習	2
⑥人類学博物館WEBページ改修とコンテンツ	3
⑦ボランティア活動	3
(2) 協定・連携事業	3
①明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業	3
②名古屋大学博物館連携講座	4
③名城大学附属高等学校との連携授業	5
(3) 調査・研究活動	5
①名古屋盲学校	5
②人類学博物館ワークショップ	5
③博物館浴	5
(4) 資料の収集・整備と利用	6
①受贈資料	6
②燻蒸の実施	6
③購入図書	6
④受贈図書数	6
⑤資料貸出	6
⑥調査	7
⑦取材・メディア出演	8
⑧撮影・他機関刊行物等への掲載	8
(5) 出版活動	9
2. 組織と運営	
(1) 組織	10
(2) 開館・入館者実績	10
①開館日数・入館者数	10
②入館団体内訳	11
3. 規程	
(1) 南山大学人類学博物館規程	12
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	14
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	15
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	16

## 1. 2023年度の人類学博物館の活動

2020年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、博物館活動の休止や縮小を余儀なくされていたが、各種講座の開催や、明治大学博物館との交換展示開催など、通常通りの活動を再開させた。

また、さわる展示を使ったプログラム作りや展示作成を行う人類学博物館ワークショップを開催するなど、新たな取り組みも始めている。

### (1) 教育普及活動

#### ① 展示

「博物館実習」受講生が授業の一環として、パネル・キャプションの作成および展示作業を行った。

- ・企画展「学芸員のイッピン展」  
会期：8月4日(金)～9月5日(火)  
期間中来場者数：237名
- ・WEB展示「タイ バンチェン土器／オセアニア民族造形 今泉コレクション  
／カンボジア土器」  
会期：9月5日(火)公開
- ・WEB展示「身を飾る意味／アジア・アフリカの楽器／使い方知ってる？  
～昭和の電化製品～」  
会期：9月8日(金)公開
- ・企画展「Have A Nice Trip！一旅のかたちの歴史を辿る」  
会期：12月1日(金)～12月13日(水)  
期間中来場者数：398名
- ・企画展「博物館実習 企画展 昭和のレコード/昭和のデザイン/動物の造形/世界の仮面」  
会期：12月15日(金)～2024年1月17日(水)  
期間中来場者数：283名
- ・WEB展示「昭和のレコード/昭和のデザイン/動物の造形/世界の仮面」  
会期：2024年1月12日(金)公開
- ・企画展「館藏品～寿ぐ～」  
会期：2024年3月18日(月)～4月24日(水)  
期間中来場者数：816名

#### ② 博物館講座

テーマ：「研究の魅力を語る」

今年度は、対面のみで開催を行った。

各回 14：00～16：00

参加費（4回一括）：一般 4,000円 南山大学生 2,000円

- ・第1回 6月17日(土)「女が作るモノでなりたつ社会」  
講師：後藤 明（南山大学人類学研究所）  
参加者：38名

- ・第2回 6月24日(土) 「「中国」文明はどのように形成されたのか  
—地理考古学的な視点から考える」  
講 師：西江 清高 (南山大学名誉教授)  
参加者：33名
- ・第3回 7月8日(土) 「西アフリカのムスリムたちの歴史  
—墓碑とモスクから考える—」  
講 師：坂井 信三 (南山大学名誉教授)  
参加者：31名
- ・第4回 7月22日(土) 「日本最古のブタ?—沖縄のブタ食文化の起源—」  
講 師：新美 倫子 (名古屋大学博物館)  
参加者：25名

### ③ 協力

◇南山中学・高等学校男子部でのサテライト展示協力

- ・3月14日(火)～10月23日(月)  
石斧、骨角器、縄文土器片、弥生土器片、埴輪、縄文土器深鉢など考古資料
- ・10月23日(月)～2024年1月16日(火)  
明治・大正・昭和時代の教科書、昭和時代の科学の付録など
- ・2024年1月16日(火)～3月25日(月)  
戦時中の配給券、ラジオ、昭和初期の暖房器具など
- ・2024年3月25日(月)～7月頃  
石斧、骨角器、縄文土器片、弥生土器片、埴輪、縄文土器深鉢など考古資料

### ④ 博物館実習 (他大学より受入)

申込大学：愛知学院大学 (2名)

期 間：7月31日(月)～8月4日(金) 計5日間 各日 10:00～16:30

実施内容：展示作成、資料梱包・開梱、資料整理等

実施場所：人類学博物館展示室

展 示：企画展「学芸員のイッピン展」

### ⑤ 総合学習

◇見学 (2校)

- ・2024年1月23日(火) 名古屋市立本城中学校 6名
- ・2024年1月24日(水) 名古屋市立長良中学校 37名

◇インターンシップ受入

栄徳高等学校 2年生 1名

期 間：2024年2月19日(月)～2月21日(水) 計3日間 各日 10:00～15:30

実施内容：展示室メンテナンス・資料撮影準備補助・展示解説等

## ⑥ 人類学博物館WEBページ改修とコンテンツ

◇白黒反転機能の追加

◇「museum notes」配信

人類学博物館の資料紹介をWEBページに掲載。

・Vol.9 4月28日(金) 執筆者：井原 瑠梨 (人類学博物館学芸員)

◇「おでかけガイドマップ」配信

ボランティアスタッフと共に遺跡や他の博物館を巡り、その成果をWEBページに掲載。

・遺跡・史跡編 瑞穂台地をあるく 1、2 2024年3月18日(月)

## ⑦ ボランティア活動

2014年度よりボランティア規程に則りボランティアを募集し、活動を行っている。

◇ボランティア登録者数：11名

◇ボランティア研修

(場所：人類学博物館レファレンスルーム)

4月25日(火)	展示解説台本作成準備	8名
5月23日(火)	展示解説台本作成	9名
6月20日(火)	展示解説実践	9名
9月19日(火)	コレクションの背景～西北タイ資料を中心に～	10名
10月4日(水)	懇談会	7名
10月24日(火)	考古学基礎論	8名
11月28日(火)	縄文時代について学ぶ①	8名
12月26日(火)	縄文時代について学ぶ②保美貝塚について	8名
1月30日(火)	陶磁器について～土器との比較を通じて～	7名
2月27日(火)	人類学博物館の縄文資料について	8名
3月26日(火)	館藏品～寿ぐ～(ギャラリートーク)	9名

◇実地見学等

・遺跡・史跡めぐり、博物館見学

4月9日(日) 瑞穂の遺跡を中心に

11月18日(土) 瑞穂～新栄の遺跡を中心に

2024年1月8日(月) 土岐市美濃陶磁歴史館

◇来館者対応

7月15日(土)、16日(日) オープンキャンパス 来館者対応

他、団体見学予約時など。

## (2) 協定・連携事業

### ① 2023年度明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業

◇交換展示

期 間：10月17日(火)～11月25日(土)

- ・ 明治大学博物館会場  
テ ー マ : 「オセアニアの民族造形—故今泉隆平氏のコレクションから—」  
来場者数 : 明治大学博物館会場 5,525 名
- ・ 南山大学人類学博物館会場  
テ ー マ : 「花押・印章—内藤家文書を中心に—」  
来場者数 : 南山大学人類学博物館会場 1,269 名

◇ギャラリートーク

- ・ 明治大学博物館会場 11月24日(金) 11:00~11:45  
担 当 : 黒澤 浩 (南山大学人文学部)  
聴講者数 : 18 名
- ・ 南山大学人類学博物館会場 11月15日(水) 13:30~14:30  
担 当 : 日比 佳代子 (明治大学博物館学芸員)  
聴講者数 : 15 名

◇在校生向け特別講義

- ・ 南山大学生向け 5月19日(金)  
テ ー マ : 「大学博物館の使命と機能」  
講 師 : 外山 徹 (明治大学博物館)  
聴講者数 : 73 名
- ・ 明治大学生向け 11月24日(金)  
テ ー マ : 「南山大学人類学博物館の試み」  
「博物館における歴史と文化の展示の考え方」  
—南山大学人類学博物館のリニューアルに際して—  
講 師 : 黒澤 浩 (南山大学人文学部)  
聴講者数 : 32 名

② 2023年度名古屋大学博物館連携講座「大学博物館が語る、地球と人類のヒストリー」

対面と配信 (zoomウェビナー) のハイブリッド開催

各回 13:30~15:00

参加費無料 Peatixサイトを利用したの事前申込制

- ・ 第1回 10月7日(土)「化石—生き物はどうやって“石”になる?—」  
講 師 : 片田 はるか (名古屋大学環境学研究所)  
会 場 : 南山大学R49 教室  
参加者 : 対面 45 名 オンライン 50 名
- ・ 第2回 10月21日(土)
  - ①「持続可能な観光の考察—バリ島プンリプラン村を事例として考える—」  
講 師 : 野口 真花 (南山大学大学院人間文化研究科)
  - ②「アンデス最初の帝国:ワリ」  
講 師 : 吉川 主浩 (南山大学大学院人間文化研究科)  
会 場 : 名古屋大学博物館  
参加者 : 対面 23 名 オンライン 50 名
- ・ 第3回 11月11日(土)「木曾馬と人が築いてきた協働社会と、これから」  
講 師 : 梅村 綾子 (名古屋大学博物館)

会 場：南山大学R49 教室

参加者：対面 26 名 オンライン 32 名

- ・第 4 回 11 月 25 日(土)「接触・模倣・変容の考古学—“弥生文化”の周縁で起こったこと」

講 師：黒澤 浩（南山大学人文学部）

会 場：名古屋大学博物館

参加者：対面 32 名 オンライン 65 名

### ③ 2023 年度名城大学附属高等学校との連携授業

2007 年度より名城大学附属高等学校と連携授業を実施している。普通科国際クラスを対象とし、人類学博物館担当教員が授業を行う。

- ・第 1 回 7 月 19 日(水)

場 所：南山大学人類学博物館

内 容：人類学博物館の展示を利用した他者理解、ユニバーサルミュージアムについて

- ・第 2 回 9 月 13 日(水)

場 所：名城大学附属高等学校

内 容：博物館見学報告、まとめ

### (3) 調査・研究活動

#### ① 名古屋盲学校

名盲サマースクール（盲学校見学会）に当館資料を展示し、イベントに参加した。

8 月 22 日(火) 9 時～12 時、13 時 30 分～16 時 30 分

来場者：45 名

#### ② 人類学博物館ワークショップ

- ・第 1 回 9 月 20 日(水) 13 時 30 分～16 時 30 分

「さわる展示」で「さわるプログラム」を考える

第 1 部 ワークショップ「さわる展示」で「さわるプログラムを」考える

講師：黒澤 浩（南山大学人文学部）

第 2 部 講演会「ユニバーサルミュージアムの現在と未来」

講師：広瀬 浩二郎（国立民族学博物館人類基礎理論研究部教授）

会 場：南山大学R49 教室

参加者：15 名

- ・第 2 回 2024 年 1 月 20 日(土) 13 時 30 分～17 時 00 分

「さわる展示」を使って「さわる展示」をつくる

会 場：人類学博物館展示室

参加者：22 名

#### ③ 博物館浴

九州産業大学緒方泉教授による、南山大学博物館実習生を対象にした「見る博物館浴」と「さわる博物館浴」の比較実証実験が人類学博物館にて実施された。

- ・2024 年 1 月 11 日(木) 13 時 30 分～15 時 15 分

会場：人類学博物館展示室・実習室

参加者：19名

#### (4) 資料の収集・整備と利用

##### ① 受贈資料

2023年度は受贈なし

##### ② 燻蒸の実施

###### ・施設燻蒸G棟

5月15日(月) 施工前昆虫トラップ配置

6月4日(日) 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置

7月2日(日) 施工後昆虫トラップ回収

###### ・施設燻蒸R棟

6月4日(日) 施工前昆虫トラップ配置

7月2日(日) 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置

7月26日(水) 施工後昆虫トラップ回収

##### ③ 購入図書

- ・酒詰仲男著『調査・日録』第1集～第12集
- ・平田駒著『スガリさんの感想文は絶え間ない嵐の中 銀河鉄道の夜編』
- ・鶴間和幸著『始皇帝の地下宮殿～隠された埋蔵品の真相～』
- ・江本精著『古代びと、祈りの風景—生殖医学からのアプローチ』

##### ④ 受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
422	366	186

##### ⑤ 資料貸出

機関名	資料名	借用期間
体感！しだみ古墳群ミュージアム	大須二子山古墳出土 横矧板鋌留衝角付 冑・胴丸式挂甲・挂甲部分 計3点	9月15日 ～12月18日
名古屋経済大学 犬山学研究センター	石製蔵骨器、須恵器、土師器 計3点	9月27日 ～12月8日
西尾市立一色学びの館	清水遺跡出土の土偶・土器 計4点	10月10日～ 2024年1月12日

⑥ 調査

来館者名	資料名	実施日
南山大学人文学部 安江 太良氏	黄島貝塚出土石器	4月7日
飯田市文化財保護活用課 加藤 大智氏	根方岩陰遺跡出土資料	4月22日
南山大学人文学部 上峯 篤史氏 他複数名	パプアニューギニア Anbannigl 遺跡、Tsak PumakosA・B 遺跡の遺物	6月5日～23日
南山大学大学院 吉川主浩氏 飯田市文化財保護活用課 加藤 大智氏	根方岩陰遺跡出土資料	4月28日 ～5月8日
刈谷市歴史博物館 野村 啓輔氏 鵜飼 堅証氏	マリンガーコレクションの石器	6月1日
阿智村教育委員会 中里 信之氏	大須二子山古墳出土須恵器	6月30日
南山大学大学院 村井 咲月氏	恵日山遺跡・赤土坂遺跡出土石器	7月18日
南山大学人文学部 安達 友隆氏 木下 孔暉氏	高蔵遺跡出土円窓付土器、壺	7月19日
名古屋市教育委員会 木村 光一氏	朝鮮半島出土 陶質土器、金属製品	7月25日
名古屋市教育委員会 山田 暁氏	大須二子山古墳 衝角付冑、挂甲	8月1日
西尾市教育委員会 鈴木 とよ江氏 浅岡 優氏	清水遺跡出土資料	8月23日
南山大学人文学部 堀江 咲名氏	入海貝塚出土土器	9月11日、13日～ 15日
南山大学大学院 村井 咲月氏	恵日山遺跡・赤土坂遺跡出土石器	10月2日、3日、 12日
南山大学人文学部 安江 太良氏	入海貝塚 石匙、武芸八幡遺跡 石器	10月13日
南山大学人文学部 安達 友隆氏	埴輪	10月18日
愛知県埋蔵文化財センター 早野 浩二氏	断夫山古墳、大須二子山古墳出土埴輪	10月24日

神奈川大学大学院 余 瑋氏	中国関係の資料	10月26日
南山大学人文学部 YUAN Meng氏	馬高遺跡出土土器	10月28日
南山大学人文学部 堀江 咲名氏	番澤コレクション（土器）	11月2日～4日
名古屋市教育委員会 木村 光一氏	朝鮮半島出土 陶質土器	12月26日
南山大学人文学部 安江 太良氏	入海貝塚 石匙	12月27日
あいち朝日遺跡ミュージアム 原田 幹氏	西北タイ歴史民族調査団資料 収穫具 パプアニューギニア 弓・矢	2月5日・6日

### ⑦ 取材・メディア出演

依頼元	サイト・番組名	掲載日・放送日
愛知芸術文化センター	情報誌「AAC」	12月1日

### ⑧ 撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
愛知県保険医協会	館内全体写真 1点	機関紙「愛知保険医新聞」	4月5日
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	「定期テスト対策プログラム中 1」(5科目合本) 塾用教材	7月12日
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	「夏期講習会テキスト」塾用配 信教材	7月15日
岡安 雅彦氏	高蔵遺跡出土土器 3点	自費出版「日本における覆い焼き の成立と展開」	7月31日
名古屋市教育委員 会文化財保護室	横矧板鋌留衝角付冑・胴丸 式挂甲・挂甲部分 3点	秋の企画展示解説用シート及び 展示解説パネル、HP等や館内 の広報	9月8日
名古屋経済大学 犬山学研究センタ ー	蓮池古墳出土 石製蔵骨器、 須恵器、土師器 3点	展示会場内設置の説明用パネル	9月29日

和歌山県立紀伊風土記の丘	大須二子山古墳の副葬品 1点	令和5年度秋期特別展「律令国家成立前夜」展示図録および展示パネル	9月30日
西尾市教育委員会	清水遺跡出土の土偶／ 清水遺跡出土の靱痕が残る土器／清水遺跡第1次調査A・Cトレンチの様子 3点	西尾市遺跡解説パンフレット 一色学びの館企画展「弥生時代の西尾」 チラシ・展示パネル・タペストリー	9月30日
南山大学大学院 人間文化研究科 村井 咲月氏	早川正一先生関連資料実測図	矢出川遺跡細石刃発見70周年シンポジウム 発表用ポスター 「東海地方西部の細石刃剥離技術と石材環境」	11月11日
株式会社 スタジオタックク リエイティブ	花輪台の土偶 1点	楽しく学べる歴史図鑑 土偶	11月17日
飯田市教育委員会 加藤 大智氏	根方岩陰遺跡の発掘調査時の写真 2点	「人類学博物館紀要第42号」	12月20日
株式会社 山川出版社	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	『30日完成スピードマスター日本文化史問題集』	2月20日
株式会社 山川出版社	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	Japanese History for High school 『英文詳説日本史』	2月
株式会社 文英堂	大須二子山古墳の副葬品 1点	『理解しやすい日本史探究』	3月1日
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	「さなる式 歴史I」塾用問題集	3月1日
名古屋経済大学 犬山学研究センター	蓮池古墳出土 石製蔵骨器、須恵器、土師器（甕片） 3点	名古屋経済大学犬山学研究センター広報誌「犬山学」第11号	3月20日
青木 義脩 氏	姥山貝塚土器 実測図 32点	渡辺誠先生追悼論集	3月
田原市教育委員会	北屋敷貝塚出土土器 実測図 22点	『渥美半島貝塚群I 報告編』	3月

## (5) 出版活動

- ・『南山大学人類学博物館紀要』第42号
- ・『南山大学人類学博物館年報』2022年度（Web掲載）

## 2. 組織と運営

### (1) 組織

#### 1) 職員

館長	奥田 太郎	(副学長／人文学部人類文化学科)
担当教員	黒澤 浩	(人文学部教授)
学芸員	内木 志保	(派遣職員) (～2023年9月30日)
	福岡 真奈美	(派遣職員) (2023年4月24日～6月20日)
	高橋 佳子	(特別嘱託職員) (2023年7月1日～)
	井原 瑠梨	(特別嘱託職員) (2023年10月1日～)
事務員	水田 真紀子	(専任嘱託職員) (～2024年1月31日)
	武本 美和子	(臨時職員) (～2023年11月22日)
	久野 麻美	(臨時職員) (2023年11月7日～)
	峯松 智子	(派遣職員) (2024年1月5日～3月31日)

#### 2) 博物館運営委員会

委員長	黒澤 浩	(人文学部教授)
委員	坂下 浩司	(人文学部教授)
	渡部 森哉	(人文学部教授)
	上峯 篤史	(人文学部准教授)
	宮脇 千絵	(人文学部准教授)
	友松 順一	(学事第二課長)
事務局	学事第二課	(人類学博物館事務室)

#### 3) 資料評価委員会

委員長	渡部 森哉	(人文学部教授)
委員	上峯 篤史	(人文学部准教授)
	宮脇 千絵	(人文学部准教授)
事務局	学事第二課	(人類学博物館事務室)

### (2) 開館・入館者実績

大学の各イベントが通常に戻り、高校生のキャンパスツアーや団体見学件数も増えたことで入館者の増加につながっている。

#### ① 開館日数・入館者数

開館日数	入館者数	団体数	団体人数
248	8,370	61	2,925

## ② 入館団体内訳

### ・大学見学

見学日	学校名	人数
4月19日	南山高等学校男子部	180
4月28日	浜松開誠館高等学校	80
5月10日	美濃加茂高等学校	90
5月19日	愛知県立知立高等学校	80
5月24日	愛知県立豊田東高等学校	40
6月5日	岐阜県立本巣松陽高等学校	33
6月15日	大同大学大同高等学校	80
6月16日	岐阜県立各務原西高等学校	60
6月22日	岐阜県立多治見高等学校	40
6月22日	安達学園中京高等学校	54
6月27日	鶯谷高等学校	50
6月28日	愛知県立豊橋商業高等学校	40
7月3日	愛知県立豊丘高等学校	40
7月5日	愛知県立川越高等学校	85
7月11日	桜丘高等学校	27
7月12日	愛知産業大学工業高校	10
7月19日	静岡県立浜北西高等学校	80
8月3日	愛知県立津島東高等学校	34
8月22日	愛知県立東海南高等学校	27
8月24日	愛知県立津島高等学校	24
10月4日	三重県立川越高等学校	80
10月11日	修文学院高等学校	70
10月12日	東邦高等学校	40
10月13日	静岡県立島田高等学校	78
10月16日	津田学園高等学校	45
10月19日	愛知県立犬山高等学校	26
10月20日	岐阜県立関高等学校	40
10月20日	愛知県立豊橋南高等学校	19
10月23日	愛知県立吉良高等学校	38
10月27日	愛知県立中村高等学校	40
10月31日	角川ドワンゴ学園 N 高等学校・S 高等学校	20
11月7日	三重県立宇治山田商業高等学校	22
11月8日	愛知県立横須賀高等学校	62
11月9日	私立愛知工業大学名電高等学校	29
11月10日	長野県飯田風越高等学校	40
11月24日	私立栄徳高等学校	100
11月29日	南山高等学校・中学校育友会(保護者)	142

12月5日	クラーク記念国際高等学校	108
12月6日	長野県伊那弥生ヶ丘高等学校	35
12月8日	安達学園中京高等学校	54
12月12日	私立豊川高等学校	45
12月14日	愛知県立足助高等学校	47
12月19日	三重県立尾鷲高等学校	36
2024年1月18日	名古屋市立扇台中学校	16
3月5日	愛知県立惟信高等学校	85
3月27日	聖園女学院高等学校	52

・大学見学以外の団体

見学日	団体名	人数
4月22日	民族藝術学会第39回大会	24
5月11日	愛知シルバーカレッジ	16
5月12日	大ナゴヤツアーズ	12
5月19日	名古屋大学	48
6月7日	中京大学	15
6月9日	下諏訪町観光振興局	9
6月13日	あいち年金者大学	15
7月1日	大ナゴヤツアーズ	12
10月11日	年金者クラブ瑞穂支部	10
10月12日	名古屋大学	70
10月18日	名古屋市立大学	27
11月1日	シルバーカレッジ	8
11月8日	名古屋市立滝川小学校	16
11月25日	大ナゴヤツアーズ	5
12月7日	名古屋大学	30
2024年1月20日	大ナゴヤツアーズ	4
1月25日	名古屋鯉城学園	30

### 3. 規程

#### (1) 南山大学人類学博物館規程

##### (目 的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目

的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事業)

**第2条** 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館長)

**第3条** 博物館に館長を置く。館長は副学長（研究推進担当・教育支援担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

**第4条** 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

**第5条** 博物館の運営に関する重要事項を審議する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

**第5条の2** 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

**第6条** この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

**第7条** この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

**附 則**

この規程は、2005年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。

**(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程**

(目 的)

**第1条** 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を審議することを目的とする。

(組 織)

**第2条** 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）
- 2 博物館学芸員養成課程委員会委員長
- 3 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

**第3条** 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- 1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項
- 2 博物館資料の収集に関する事項
- 3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項
- 4 博物館の事業に関する事項
- 5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

**第4条** 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(博物館資料の収集)

**第5条** 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、南山大学人類学博物館資料評価委員会にその受け入れの可否を諮問することができる。

(事務)

**第6条** 委員会の事務は、学事第二課が担当する。

(規程の改廃)

**第7条** この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

**第8条** この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

**附 則**

この規程は、2005年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

### (3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目的)

**第1条** 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行う博物館資料の収集に関する事項を協議することを目的とする。

(組織)

**第2条** 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

1 南山大学人類学博物館運営委員会委員 2名

2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

**第3条** 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、その受け入れの可否を、南山

大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）の諮問に基づき、協議する。

② 委員会は、協議の結果を速やかに運営委員会に報告する。

（議事運営）

**第4条** 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

（事務）

**第5条** 委員会の事務は、学事第二課が担当する。

（規程の改廃）

**第6条** この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

（雑則）

**第7条** この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

**附 則**

この規程は、2006年7月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

#### （4）南山大学人類学博物館ボランティア規程

（趣 旨）

**第1条** この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

（目 的）

**第2条** 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館—ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

（活 動）

**第3条** 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視

2 その他、博物館事業への協力活動

（活動上の原則）

**第4条** 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるた

め、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報や適正に扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登録)

**第5条** 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

**第6条** ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に違背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

**第7条** この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

**附 則**

この規程は、2014年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2024年6月24日 印刷

2024年6月24日 発行

南山大学人類学博物館年報 2023年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄3-21-31

phone 052 (732) 2227